



① 人にやさしく  
② 自信をもって  
③ ふるさとを愛し  
④ たくましく

合い言葉

みんなで笑顔

文責 宇川 智典

## 卒業おめでとうございます！ 希望あふれる未来へ

3月17日(火)に令和7年度卒業証書授与式を行い、6年生33名の子どもたちが立派な姿で比地小学校の学び舎を巣立っていきました。緊張感のある厳かな雰囲気の中にも、子どもたち一人ひとりの成長を感じる、心温まる式となりました。卒業生は、呼名の返事や証書の受け取り、姿勢や態度のどれもが堂々としており、6年間の学びと成長の大きさを感じさせてくれました。また、5年生を中心とした在校生による「門出のことば」では、6年生への感謝の気持ちや、これからの比地小学校を引き継いでいく決意が込められ、全校生が大きな声で心を合わせて呼びかけを行うことができました。卒業生の思い、在校生の思いが体育館いっぱいに広がり、会場全体が温かな空気に包まれました。卒業生、保護者、地域の方々、在校生、教職員がそれぞれの立場で思いを込め、やさしく、おだやかな時間を共有することができた、思い出深い卒業式となりました。

この日を迎えることができたのは、これまで子どもたちを温かく見守り、支えてくださった保護者のみなさま、地域のみなさまのご支援・ご協力のおかげだと強く感じています。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

### 【校長式辞】

皆さんは入学してから今日まで大きく成長しました。中でも、この一年間の成長は本当に素晴らしいものでした。最上級生として、学校行事や児童会活動に意欲的に取り組み、学校の顔としての役割を立派に果たしてくれました。

比地二地区体育祭で、昭和の名曲にのって、格好よく踊ったダンス。周りの人と時間を大切にしながら行動できた修学旅行。そして、「芸能自慢大会」「比地ラジオ」「シャッフル読み聞かせ」など、児童主体の楽しい委員会活動。「みんなでえがお」の合言葉通りの比地小学校にしてくれたのは、まさに卒業生の皆さんです。

そんな皆さんに、一つの言葉を贈ります。アンパンマンの作者「やなせ たかし」さんの言葉『人生はよろこばせごっこ』です。人に勝つことよりも、人を喜ばせることを大切にする。相手の笑顔が、自分の喜びになる。それが『よろこばせごっこ』です。

笑顔は一人では生まれません。誰かを思う気持ちがあつてこそ、生まれるものです。これから先、うまくいくことばかりではないかもしれませんが、それでも、人を喜ばせる人でいてください。誰かの笑顔を作れる人でいてください。その積み重ねが、皆さん自身の人生を、豊かであたたかいものにしてくれます。

私は、入学の日から今日まで、皆さんの成長を近くで見してきました。だからこそ、胸を張って皆さんを送り出すことができます。皆さんなら、これからも「みんなでえがお」を広げていけると信じています。

